

緑のふるさと協力隊

中嶋紘子は今日もゆく

活動レポート №6

●町民運動会

10月7日に開催された、町民運動会に参加しました。岸良では、Tシャツを揃えたり、みかんの飾りを手首に着けて入場行進したりと、一体感が強まりました。子供たちの活躍が目立つ一方で、私は足を引っ張ってしまい申し訳ない気持ちでいっぱいでした。地区ごとに競い合い勝敗がつくものの、町民全体で盛り上がって楽しむいい機会だと思いました。



●やぶさめ祭り

10月21日に開催されたやぶさめ祭りでは、魚つかみ取りの係やヤッサン踊りなどに参加しました。魚つかみ取りでは、朝早くから行列ができ、大人気のイベントでした。必死にカンパチを捕まえる子供と、それを必死に応援する親の姿が印象的でした。またヤッサン踊りは、地域の女性会や先生たちと一緒に踊りました。先生たちは年中様々な行事に参加していて、地域の一員という感覚が新鮮であり、素晴らしいことだと感じています。

やぶさめは、本番は一瞬だけけれど、そこに長い歴史、色々な人の想いが詰まっているところが魅力なのだと感じる。



●大浦地区で稲刈り

大浦地区にて、普通作の稲刈りをしました。6月に一緒に田植えをして以来、この日を楽しみにしていました。地域の人と助け合って、無事終わりました。お昼には煮しめや赤飯をみんなで食べ、幸せな時間でした。大浦は、風景や空気はもちろん、住む人のあたたかさが何より魅力です。帰りには野菜をくれて、「またおいでね」と言って見送ってくれました。



●味噌作り

味噌ってこうやって作られるのか、と驚きの連続でした。調べると、中国古来から伝わったもので、形を変えながら現在まで受け継がれている食べ物だそうです。そう思うと、味噌ってすごい食べ物だと思えてきました。日本の伝統的な食べ物には、歴史や地域性などがあって面白いです。「手前味噌」には、市販のものとはまた違った美味しさや、作り手の想いが詰まっていると感じました。



Profile / なかしまひろこ 中嶋紘子 (緑のふるさと協力隊員)

岸良地区を活動の拠点として、地域に密着した様々な活動に取り組んでいます。

※ふるさと活性化事業の一環として、緑のふるさと協力隊を受け入れています。

